

令和6年11月

保護者のみなさんへ

全国の学校改革の過渡期の中で

中学校区一貫教育校園

玉野市立荘内中学校

校長 住田 義広

学校教育は高校大学も含めて大きな改革期にさしかかっていますが、なかなかイメージできず、これまでの感覚で考えると、保護者のみなさんに不安が募ることは否めません。昨今の状況をお伝えいたします。

J A E T日本教育工学協会では、文部科学省から委託を受け、教育情報化優良校・先進校認定を行っています。岡山県教育委員会では県立高校には徹底してG I G Aスクール構想を進め、優良校認定を受けることをマストにしているそうで、J A E TのHPで調べると多くの県立高校が優良校認定を受けています。すべての高校でも学習用端末活用を徹底していく時代になっています。

荘内中学校では、学習用端末を授業と校務に徹底活用し、2022年に優良校認定を受けています。本校で学習用端末活用学習に慣れている生徒は、今後、高校等で柔軟に対応していけるでしょう。

岡山県はこの認定に力を入れており、120校程度の小中高の学校が認定を受けています。まだ認定されていない学校は今後、全力で追いつくように取り組まなければならない状況にあります。

世の中は大きく変わり続けています。学歴社会から、テストの点数だけでは測れない新しい学力観で学校改革は進んでいます。そんな中、今までどおりがいいという考えも理解できます。しかし、乗り遅れることは、10年後、20年後の生徒の人生に響いてくる、本校では、そういう思いで日々取り組んでいます。我々教職員は、塾と異なり、進学だけでなく生徒の人生を考えて教育に取り組んでいます。

I C T化の分野では日本は世界から大きく後れを取り、世界経済の中で勝負ができない状況になっています。「このままでは国が衰退の一途をたどる、だから教育を変えていく」G I G Aスクール構想はこうして始まり、現在はNEXT GIGAといわれています。

各学校にも同様の改革を早期に進めてほしいと願っています。

学習用端末を活用したら学力（得点力）が急に上がるわけではありません。これも生徒の学習意欲の問題です。しかし、授業改革を進め学習用端末を活用しながら主体的な学びを進めたなら、真の学力といわれる非認知能力を高め、激動する社会で生きる資質能力を身につけることができると考えています。また、長年の荘内中学校における学力診断テストの平均値をみると、G I G Aスクール時代になっても得点値が低下している状況ではなく、維持し続けている実態が見て取れます。現在は、一層得点値を上げていく手立てを進めているところです。

大学入試が変わり、高校が変わり、義務教育が変わっていきます。変化をしないと立ち行かない時代です。今一度、激変する未来を考えてみましょう。未来を生きる子どものための教育改革です。